

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【下北地区研修】

令和6年9月19日(木)13:30~16:00 むつ合同庁舎 受講者21名

1 内容

【テーマ】「持続可能な地域づくり」をするための人材の育成

【講師】岩手県教育委員会

教育委員

にいづま つぎお
新妻 二男 氏



【経歴】

1979年より岩手大学教育学部において教鞭をとり、助教授・教授を経て、2013年から2015年には同大学教育学部長を務めた。その間、教育学部附属教育実践総合センター長や岩手大学評議員等も歴任している。

2016年からは、岩手県立生涯学習推進センター参与、また、岩手大学名誉教授となっている。その他にも、岩手県保育連絡会会長や岩手県いじめ再調査委員会委員長など、数多くの役職を継続して務めている。

【講義要旨】

- 住民が安心して生活でき、未来に向けて希望を持てる地域こそが、持続可能な地域であり、その地域づくりの主役は地域住民です。
- 社会教育行政や施設に関わる職員は、住民の実際の生活状況や課題を理解し、「文化的教養」の向上に役立つ取り組みを住民のために企画することが求められます。
- 安心が得られる地域も希望が持てる地域も、住民が孤立・孤独感を抱えていては実現不可能です。まずは、住民の孤立・孤独を防ぎ、地域住民間での多様な関係性と信頼関係づくりに踏み出すことが重要です。
- チャレンジする社会教育を実現するためには、社会教育職員が人々や他の組織と連携・協力し、コーディネートの役割を果たすことが必要であり、これが今一番求められている能力なのです。

2 受講者の感想

- ・住民の幸福について、行政頼みではなく、住んでいる人がみんなで協力していかなければならないと強く感じました。
- ・地域づくりのリーダーとして、同じ人が頑張っている現状をなんとか変える必要があると思いました。
- ・いろいろな視点で考えたり、実践活動の話を知ったりして、おもしろく、楽しく話を聞きながら納得できました。周りの環境を見回しヒントを見つける、考える等のアドバイスをもらい、今後の業務への良い方向付けになりました。